

理研会報

発行

印教研理科研究部

事務局

成田市成田950
成田川学校内

理科の授業に思う

鈴木彰
(四街道中央小学校長)

このあいだ、早稲穂指定実験学校成田川の運営委員会とき、県石原指導主任さんから次のようなお話しを伺い大変参考になったので、その一端を紹介してみたいと思います。

そのひとつは、理科の教材をどのようにみたらよいかということとです。

植物教材群に、一草一木が二葉一ひまわり、三葉一へら、株分け、さし木、四年一、以下略といったものがあります。

ところで、この内容を、それぞれの学年で、それぞれの目標、内容をバラバラに扱ったとしたら、いったい、どのような結果になるだろうかということでした。

植物は生きている生命現象という基本概念(当らないがもし)を軸に、それぞれの学年の指導重点を位置づけ、成長繁殖と環境との関係考察に角度づけ、教材構成をしない限り、のびのある学力、創造性を培う理科教育には、ほどよいものがあるということとです。

オ二は、指導過程の授業の組み立てが甘いとことでした。

指導過程の基本としては、問題把握、予想計画、実験考察、整理一般化の順型が定説ですが、これは

この基本型をいまえながらも、力動的な展開方法の工夫が必要だということとです。

そういわれれば、もっともなことで、授業がラセン式構造に高まらなければいけぬと考へる方はいらぬが、山ありと谷ありの、始めの問題の解決から再び新しい問題の導きがわり、さらに次のみ方考へ方が生れてくるといった授業は、そんなむずかしいものとは思いません。

お互いに研究してみたいと思います。

オ三は、授業の初発(いわば動機づけ)に工夫してほしいということとです。

ブラックボックス方式というものが私には印象的でした。

黒箱を示して、これは何だろうとひたすら入り方だぞうぞう、くわしむことば書きませんが、問題把握のさせ方や仮説設定の断面は、今後鋭いメスを加える必要を痛感した次第です。

理科では、自然の事物現象が学習の対象です、この対象にどう子どもたちに解決させるかが根本ではないでしょうか。

印鑑の水生植物(4)

船橋小 登井貞夫

ヒシドキ

ゴマ科

葉がヒシに似ているので、この名があるが、全然、科が別である。淡紅色の花は、下部は筒状、邊緣は五裂する。奥の形が違ってヒシドキに似ている。奥の先端に五本のひげをもっている様は、ヒドラスツクリである。岸の入り江にたマコモ群落の一角に生えていた。

ガガアタ

リンドウ科

アサザ

リンドウ科

まるい葉を水面に浮かばせるのは両者とも同じである。花の色がガガアタは白色、アサザは黄色である。アサザは横走する地下茎をもつが、ガガアタは地下茎がない。両者とも、水の深深により葉柄の長短ができる。

トチカガミ

トチカガミ科

勝手土間に棲みついでいて、この何年となく、時節がくると朝晩家の二気味向いに出てくる雄のガガアタの朝ボックリ死んだ。彼女の居間である土台君下から、吾々の伊段の方へ一歩踏み出した格好で息を引取っている。別段調音してはいたわけでは無いが、常にお目見得している彼女がいないと淋しいと妻は嘆

おたまたがえる

熊谷(成田川小学校)

話の古いが今から十二、三年前、私が三里塚小学校にお世話になってるとき、県の理科研究

初任理科専任教師誕生

船橋小 登井貞夫

小学校にも教科担任制の音が、あちこちに聞かれますが、部市内のトップを叩いて、本年四月より四街道中央小学校では、高学年を対象に理科専任制が実施されました。その趣意について、鈴木校長先生は次のように述べています。

私の学校では、ことしの四月から、五六年生に理科の専任教員(石井肇先生)制度をしくことにしました。

もともと私は、高学年の教科担任はチームティーチング方式を採用すべきだという持論をもつものであります。

だれにも初められるという基本問題から、より以上に教えられるという層の面を問題にするからであります。

そのような考へのひとつのあらわれとして、理科専任科にふみぎつてみたわけでありませぬ。

発定してより僅か二か月ぶりです。その成果について云々をさませぬ。

担当の先生は、さぞ大変だと思われませぬ。どうぞよろしくお願ひいたします。

風信

成中、四街道小に設置されてます。地方理科教育センターの本年度運営計画が立案されました。

四街道小センター

△学習指導法講習会

・ 下学年を対象として、六月十八、十九の両日

・ 上学年は七月二、三日の両日

編集後記

鈴木先生の手稿。理科の授業に思う。創造性の問題がさかんにとりあげられています。この項、懇話の要があると思ひます。

。おたまたがえる。初稿の風のように、ひとときの想ひを感じさせられます。

。今号は、緒先輩からの手稿をお寄せいただき、ありがとうございました。

。学校園、都合により本号は休みます。